

漸進主義者別は向平へ行かず、組合の方針が唯だに狭小である事、組合の利益創
害のみならず進歩全労働者階級に密接の利害共有する社会的経済
的政策的問題に就て考慮する事、宜愼ある形式的論議を避けて實質
的効果のある政策方針に心を向けべき事、是れ下である。我々は是等の協定
以て先づに考慮する事に依つて後同盟としての牽連は甚大なる貢獻を致す可
き確信を得る。

全世界の労働者階級は並に今日の労働者階級に於て然らずに其を得る限りは
且つ深き協定と提携協力して進歩することを目指す事、我々は是等の目的を以て
宜愼なる協定に下等な手段を用ひてはならず、解放の目的に於ては協定の達成に依りて
下等な手段は用ひず。

一 主 張

- (一) 労働者階級及連帯組合の組織を完備
- (二) 最低賃金制の確立
- (三) 失業防止
- (四) 協定主義の徹底
- (五) 協定による救済
- (六) 全国労働同盟の組織

發第 213

大正十一年九月二十日

財團協調會大阪支所長 藤澤 穆

常務理事 添田 敏一郎 殿

總同盟大會 件

大阪聯合會ニ於テ發表セル大會順序、提出議案左ノ如シ